



世界への
プレゼントになろう

2015～16年度テーマ

中村ロータリークラブ

例会記録 (2015～2016)

会 長/梅 原 薫

幹 事/井 上 克 彦

会報委員長/細 川 喜 弘

創 立/昭和38年10月2日

例会日/水曜日 12:30～13:30

例会場/新ロイヤルホテル 四万十

事務所/四万十市中村小姓町46番地 中村商工会館2F

TEL 0880-35-4551 FAX 0880-35-4553

●ホームページ <http://www.nakamura-rc.com/>

週報 No.2425

第2556回 平成27年11月18日(雨)

本日のプログラム：職場訪問例会 (株)グリーンエネルギー研究所

11月25日(水)のプログラム：会員スピーチ「ロータリー財団月間」

12月2日(水)のプログラム：クラブ年次総会

職場訪問例会 (株)グリーンエネルギー研究所

【会長報告・挨拶】梅原会長

- ・本日は大雨の中、職場訪問例会ということで、宿毛市平田町の(株)グリーンエネルギー研究所にきました。木質ペレットでバイオマス発電事業を行っています。後ほど担当者の方より説明があると思いますのでよろしくお願い致します。
- ・来週(25日)は、例会終了後に第2回目の指名委員会を行いますので会長経験者の皆様方にはご出席をお願いします。



鮎、うなぎの入ったお弁当をいただきました。
田辺職業奉仕委員長ごちそうさまでした。





永野事業本部長より、木質ペレット製造によるバイオマス発電事業についてご説明をいただきました。

風力、小水力、太陽光など、さまざまな再生可能エネルギー発電事業の中でも天候に左右されず最も安定した発電量を維持できるのが木質バイオマス発電です。

ここでは、間伐材や林地残材、製材端材、さらには樹皮などの、これまで利用していなかった材をエネルギー源とした木質バイオマス発電事業を展開しています。発電燃料として未利用資源を活用する事で、森林資源の保全を促し、山間地域での雇用拡大を促進するといった付随効果も期待されております。



- ・施設名称 宿毛バイオマス発電所
- ・発電仕様 定格発電出力6,500KW／送電電力5,800KW(最大6,000KW)
- ・使用燃料 木質チップ燃料(未利用木材、一般木材)
- ・計画発電量 約4,500KWh／年
- ・ボイラ形式 自然循環式水管ボイラ
- ・原料使用量 約9万t／年

雨の中、ご出席の皆様お疲れさまでした。